

臨床法学教育学会創立 10 周年記念第 2 回プレシンポジウム

日 時： 2017年1月28日（土）13時30分～17時 開場13時

会 場： 早稲田大学(早稲田キャンパス)8号館3階会議室

テーマ： 新しい法曹像を軸とした「教育」と「試験」の統合

———司法制度改革の理念の再生に向けて

【企画の趣旨】

新しい法曹養成制度において法科大学院教育と司法試験との「有機的連携」が謳われたが、両者の有機的連携が十分な水準に達したことはなく、制度内の不整合状態が続いている。これは、両者が旧制度の枠組みから脱却できず、歩み寄りができなかった結果であり、旧制度の残滓の温存を許した司法制度改革の限界でもあった。また、その前提として、新しい法曹像が明確に共有されなければならなかったが、この問題は曖昧なまま積み残されている。そこで、この事態を根本的に打開するため、改めて法曹像の再定位から出発し、教育と試験の両者を同時的・抜本的に変革し、制度的な統合をはからなければならない。その現実的で具体的な方法論を、既存の前提に囚われずに議論することで、新しい法曹養成制度の再生の方途を示すこととする。

【構成・進行】 《総合司会》 石田京子（早稲田大学准教授）

13:30-13:40 《開会挨拶・趣旨説明》 四宮啓（國學院大学教授、弁護士）

13:40-14:40 《報告》

(1) 法曹像の現代的展開

兵頭直樹（浦安市総務部総務課思索法務室主任主事）

山口卓男（筑波大学法科大学院客員教授、弁護士）

(2) 法科大学院教育の革新

花本広志（獨協大学教授）

竹内淳（弁護士、大学基準協会法科大学院認証評価委員会委員）

(3) 司法試験の抜本的改革

藤倉輝道（日本医科大学教授）

大澤恒夫（桐蔭横浜大学教授、弁護士）

14:40-15:10 《コーヒープレイク》

15:10-16:50 《ディスカッション》

コーディネーター：須網隆夫（早稲田大学教授）

パネリスト： 上記報告者6人

コメンテーター： 柏木昇（東京大学名誉教授、(公財)民事紛争処理研究基金理事長）

土屋美明（元共同通信社客員論説委員、中央教育審議会専門委員）

板東久美子（消費者庁顧問、元文部科学審議官）

椛嶋裕之（弁護士、日弁連法科大学院センター副委員長）

16:50-17:00 《閉会挨拶・総括》 宮川成雄（早稲田大学教授）

18:00-20:00 懇親会 早稲田大学教職員レストラン楠亭（大隈会館1階）

（敬称略・順不同）